

平成30年の救急出動について

平成30年の救急出動件数は546件（不搬送61件）、搬送人員は486人でした。

区分	計	救急事故種別					管外搬送	
		急病	一般負傷	転院搬送	交通事故	その他		
出動件数	546	353	96	60	16	21	296	
搬送人員	486	304	89	60	17	16	295	
傷病程度	死亡	16	13	0	0	1	2	0
	重症	93	49	18	20	3	3	69
	中等症	200	117	37	38	4	4	154
	軽症	177	125	34	2	9	7	71
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不搬送 61 件 ・ 平成 29 年の出動件数は 527 件 							

夕張市の平成30年出動状況は、次のとおりです。

- 救急件数は前年比で19件増加しました。（平成29年は527件）
- 出動件数546件中、296件（54.2%）が管外搬送です。
- 搬送人員486人のうち、391人（80.5%）が65歳以上の高齢者です。
- 搬送人員486人のうち、177人（36.4%）が軽症で、そのうち71人（40.1%）が管外搬送されました。

（※1） 傷病程度

死亡：初診時において、死亡が確認されたもの。

重症：傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。

中等症：傷病の程度が重症または軽症以外のもの。

軽症：傷病の程度が入院加療を必要としないもの。

平成30年中の夕張市における救急出動件数は546件（対前年比19件増）、搬送人員は486人（対前年比12人増）、となりました。救急出動件数および搬送人員で見ると、最も多かった事故種別は急病353件（64.7%）304人（62.6%）、次いで一般負傷96件（17.6%）89人（18.3%）でした。

傷病程度別（※1）で見ると、軽症177人（36.4%）、中等症200人（41.2%）、重症93人（19.1%）、死亡16人（3.3%）となっており、前年と比較すると重症が増加し、中等症での救急要請が減少しました。

全国的に救急出動件数は年々増加しており、平成29年中における全国救急出動件数および搬送人員は過去最多となっております。現在、本市における救急体制は高規格救急自動車を2台運用しており、救急出動件数の半数以上は市外へ搬送されています。

また、昨年救急車が2台とも出動した回数は79回で、救急車が出動不能な時間が101時間ありました。対応できる救急事案には限りがありますので、引き続き救急車の適正利用をお願いいたします。